

(2) 課題

- ・継続した指導と素直に反省し実践する生徒の育成。
- ・インターンシップの自己反省ではマナーの大切さを実感しているにも関わらず実践できていない生徒が多い。
- ・進路意識を向上させ、学校生活の目標を明確にさせる。

(3) 改善の方策

- ・内面の振り返りでは気づくことができるが、実践に結びつかない。行動に結びつけるよう継続した指導をする。
- ・重点項目を掲げ徹底することが必要である。
- ・インターンシップ、系列選択、科目選択など担任との面談は充実していたが、系列や進路を意識したガイダンス機能を充実させるべきである。

4 2年団

(1) 反省

- ・家庭学習を徹底させることができなかった。
- ・遅刻をする者も、まだかなりいて行動面の改善が必要である。

(2) 課題

- ・進学希望者でさえも勉学への意識が低い。
- ・早めに進路をより明確にさせ、その準備をさせる。

(3) 改善の方策

- ・進学希望者対象の指導を検討する。(個別、集団)
- ・就職なども考慮し、学習面だけでなく行動面(遅刻、服装など)についても、引き続きしっかり指導していく。

5 3年団

(1) 反省

- ・毎日呼びかけをしても必要性を感じていないのか、試験の時しかあいさつができていない。
- ・ほとんどの生徒が、面接だけ、書類選考だけなので、学習意欲のある生徒は勉強しにくい雰囲気だった。
- ・進路意識が低く、将来に対するビジョンがなく、勉学意欲もない生徒に、進路講演会や個別指導をし、学習の重要性を理解させ、授業を大切にさせるとともに、家庭学習の習慣を定着させるように指導したが、徹底できなかった。

(2) 課題

- ・モチベーションを高める効果的な指導法の研究や基礎学力を養成するために勉強の仕方、学習方法を確立させる指導法を研究すること。
- ・1・2年次からの進路に対する意識づけの必要性がある。
- ・服装指導等では、教員全体の共通理解が何より大切である。

(3) 改善の方策

- ・LHRの時間に、履歴書の書き方や面接の受け方などを練習する。
- ・1学期中に、自分の行きたい大学や専門学校について調べさせる。オープンキャンパスに参加させる。
- ・ひきつづき、SHRや集会時に服装検査をしていく。